

2つのクラブが仲間入りをしました

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、様々な行事が自粛される中、県内で2つのクラブが仲間入りをしました。準備期間に長短がありますが、地域からの支援を受けて、3月28日（日）には、「SHOKOエンジョイ倶楽部」、4月10日（土）には、NPO法人セイザンスポーツクラブが創設しました。

SHOKOエンジョイ倶楽部（岩国市装港地区）



平成30年12月に「装港地区のスポーツ環境を考える会」をスポーツ推進委員の本田晃一氏（現会長）を中心に立ち上げたのが始まり。

装港地区は、約2000人という小さな地域であり、装

港小学校を境に、装東と新港という2つの地区で成り立っています。

クラブの立ち上げに向けて、住民アンケートを実施したり、イベントを開催したりしてきましたが、エスキーテニスを定期開催スポーツとして位置づけることで、小学生から高齢者までの会員を集めることになりました。約10人の実行委員が毎月集まって話し合う中、卓球やボッチャ・ドッジビーなどのお楽しみイベントも取り入れ、地域住民のニーズを把握しながら進めているクラブです。3月28日（日）の発足式では、地域代表として、装港地区社会福祉協議会嶋田会長さんのあいさつや県や市の関係機関からの激励の言葉がありました。会員を代表して小学5年生の北野君による「楽しい一年を過ごせました。これからもみんなと一緒に楽しみたい」との言葉で、このクラブのスタートとなりました。

NPO法人セイザン下関スポーツクラブ（下関市）



NPO法人セイザン下関スポーツクラブは下関市を拠点とし、サッカーを中心にフットサル、ヨガ、体幹教室を展開しています。この度、4年間の準備期間を経て、総合型クラブへ移行いたしました。

クラブの母体は、1989年にスタートした生山FCで、2002年にセイザンFCに改名、2014年には、法人格を取得することにより、社会的地位を得て、会計決算等をより明白にしたクラブにすることや、さまざまな補助や寄付を受けたり、スポーツ施設の指定管理を受託したりとさらに活動を活性化していきたいとの思いが実現しました。その歩みの中で、クラブ理事長の宮崎氏（写真左側）は、いずれは総合型クラブにしたいとの思いを持ちながら活動されておられました。総合型クラブを目指すにあたり、まずは、会員の保護者をターゲットにしたヨガ教室を実施しました。参加者がなかなか増えないこともありましたが、日時や場所の変更、体幹トレーニングを取り入れる等、内容を充実させることで少しずつ参加者も増えてきたようです。長年活動をされていることもあり、すでに運営に関するノウハウはお持ちです。総合型クラブとなったことで、ますます活動が活発になってくるのではないかと楽しみにクラブです。

わくわく（輪く和く）通信

山口県生涯スポーツ推進センターだより

Vol.39

2021年

4月



令和2年度 やまぐち広域スポーツセンター企画運営委員会

3月12日(金)、14時から、県庁で「やまぐち広域スポーツセンター企画運営委員会」が開かれました。この企画運営委員会は、総合型地域スポーツクラブの推進状況を公表し、方針について協議し意見をいただくために毎年2回開催しています。特に、山口県の場合、総合型地域スポーツクラブの創設・育成に多くの補助金を支出していることから、様々な立場の人からの意見を伺う貴重な機会を設けているということになります。この企画運営委員会のことは、これまで広報することはまれでしたが、総合型地域スポーツクラブの在り方に大きな変化が見られることから、ここでの話し合いは大変重要な意味をもってくるように思われます。



(1) 総合型地域スポーツクラブの設立状況報告

令和2年度は、3クラブが設立し、全体で54クラブとなりました。令和3年度は、1クラブが創設するものの1クラブの解散が決まりましたので、設立は54クラブ、準備中は2クラブとなります。会員数は、22430人(1344人減少)。ほとんどのクラブで会員数が減少する中、5クラブは会員増となりました。

(2) 令和2年度の事業報告

コロナ禍の中、地域スポーツフェスタは3地区での実施となりました。いくつかの研修会は中止し、オンライン研修会となったものの、2月には創設育成研修会を開催することができました。また、山口県認定システムを運用することになりました。

(3) 主な協議から

○部活動の地域受け入れと総合型クラブ

総合型クラブにとっては大きなチャンスではなかろうか。総合型クラブが活動の場を提供したり、指導者を派遣したりできるようになることは、人がつながり、お金もまわっていくはず。総合型クラブが、部活動の動向について情報を得ることができるようになっていくことが必要である。

○山口県の認定システムと国の登録・認証制度の違い

山口県の総合型クラブは、自動的に山口県連絡協議会に所属しており、なおかつ3年前から年会費を納入している。地域にある他のクラブ(サークル)との区別をしていくために、公益性のあるクラブとして認定していくことの意義は大きい。県としては、そのようなクラブに対して、補助金を交付している。

国が進めようとしている「登録・認証制度」は、公益性やステイタスを高めるためなどとしているが、規模の小さなクラブでは会費の納入に見合う明確なメリットを見いだせないのが実情である。

○オンラインの活用を

このままの状況が続くのであれば、オンラインでの会議や研修会などを考える必要が出てくる。各クラブが参加しやすいような環境を作っていくことも必要であろう。オンラインにしたことで、遠方からも気軽に参加でき、多くの人に還元できることもあるので、検討していくとよい。

(4) 令和3年度の主な計画から

「スポーツを通じた地域活力の創出事業」を継続していくとの主旨で、具体的な事業について説明がありました。その中で、各クラブが抱えている課題である「指導や運営に携わる人材の確保、世代交代、新規会員の獲得」などを少しでも解消できるように次のような取組計画が報告されました。

①地域連絡協議会やスポーツフェスタの継続によってクラブ同士の関係性を高める。

②総合型クラブのPRについては、FM山口でのコマーシャルや中学生に配付される職業ブックでの紹介、さらにはラジオ出演などを行う。(昨年度からの継続事業)

③学校部活動の地域への移行についての情報提供や教育委員会との連携をさらに進めていく。

今回は16人中11人の委員の出席により行われました。次回は5月ごろに開催予定です。

令和3年度 研修会情報

令和3年度は、下記のような事業を予定していますので、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。なお、スポーツ指導者等派遣事業の助成を受けるクラブは、下記いずれかに出席をお願いします。

(1) 総合型地域スポーツ関係研修会・会議等

第1回創設・育成研修会 県連絡協議会総会	6/4(金) 13:00~15:10 15:30~16:30	きらら博記念公園 やまぐち富士商ドーム
クラブマネジメント研修会 兼アシスタントマネージャー講習会	8/28(土) 9:00~17:45 29(日) 9:00~15:45	維新百年記念公園 視聴覚室 15:55~試験 図書室
スポーツリーダー講習会	12/11(土)・12(日)	カリエンテ山口
第2回創設・育成研修会	未定	未定

(2) 地域スポーツ指導者養成に関する研修会

第9回WOMAN和ークル	11/13(土)	下関武道館
第10回WOMAN和ークル	2月予定	岩国市
ACP普及講習会	6/19(土) 13:00~16:30	岩国市総合体育館 講師 佐藤 善人 青野 博
ACPブラッシュアップ研修会	12/4(土) 10:00~16:00	小郡ふれあいセンター 講師 佐藤 善人 青野 博

スポーツ指導者等派遣事業

「種目別指導者を呼んで教室を開催したい！著名な講師を呼んでイベントや講演会を開催したい！」などの思いを叶えるため、(公財)山口県体育協会では助成金を交付しています。

今年度も、5月からの事業を対象に募集を開始していますので、ぜひご利用ください。

助成額: 1クラブ12万円

対象となる経費: 指導者の派遣に要する「謝金」「旅費」「傷害保険料」
事業の実施に係る「印刷製本費」「借損費」「振込手数料」



山口県スポーツ指導者バンク



山口県生涯スポーツ推進センターでは、県民の多様化、高度化したスポーツ活動のニーズに応じた専門的な資格を有した指導者についての適切な情報を提供する『山口県スポーツ指導者バンク』を運用しています。競技団体、レクリエーション・スポーツ、アスレティックトレーナー、ACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)の指導者が登録されています。詳細はHPをご覧ください [山口県スポーツ指導者バンク](#)

【担当者あいさつ】

今年度も、スポーツコンシェルジュ(リーダー・クラブアドバイザー)の2人が、クラブの皆様と手を携えて、クラブや地域の活性化につながる活動をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

リーダー 和田康夫

総合型クラブの仕事にかかわって6年目となりました。この間、国のスポーツ基本計画や山口県スポーツ推進計画が改訂され、クラブの質の向上が問われると同時に、地域スポーツのあり方も見直されようとしています。大きな変化をしっかりと見極めた仕事をしたいと考え直す今日この頃。今年度もよろしくお願いいたします。

クラブアドバイザー 岡村睦美

感染症の影響で、クラブ活動においても大変ご苦勞されているかと思っております。不安な状況は続いておりますが、工夫をしながら前向きに活動をされている皆さまにとってもパワーを感じています。今年度もクラブ訪問や地域連絡協議会、研修会等でお会いできることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。



人がつながる 人でつながる 人がつくる

地域に根ざしたクラブの経営や活動を支えるのは人…このコーナーでは、コーディネーターがインタビューをして、総合型地域スポーツクラブにかかわる人を紹介していきます。

やまぐち広域スポーツセンター企画運営委員会 委員 恵本益江 氏



3月12日（金）に開催された企画運営委員会に山口県スポーツ推進委員会女性委員の代表として、永年かかわってこられた恵本益江さんにお話を伺いました。

スポーツ推進委員女性委員長としての役割とは？

山口県の女性スポーツ推進委員一人一人が、委員としての自覚をもてることをねらいとして、県内7つのブロックが、企画・運営をしたスポーツ行事を持ち回りで年に1回行っています。最近、特に女性とスポーツについて取りざたされていますが、男女それぞれの目線が有効に生かされると、差別のないスポーツの行われ方が生まれてくるのではないかと考えています。

スポーツ推進委員になるきっかけは？

わが子が3歳の頃でしたでしょうか、ママさんバレーボールに誘われたことがきっかけで、地域スポーツにかかわるようになりました。中学校時代のバレーボール経験以上に、ママさんバレーボールの楽しさに夢中になってしまいました。おかげで、わが子もいまだにバレーボールにかかわり、子どもたちに指導する立場になっています。

これからの地域スポーツとは？

だれもが、スポーツに気軽に参加できるような状態を作ることができるといいですね。特に、高齢者が増えていく中、ますます健康スポーツの重要性が問われてきています。身の回りには、運動したいけど、クラブやサークルに入る勇気がない人はたくさんいます。そのような人が、総合型クラブが提供した多様なイベントや催し物などをきっかけに、スポーツなどにかかわることができれば…と思うのです。スポーツ推進委員も総合型クラブも、地域でのスポーツ参加者を一人でも増やしていくという大きな役割を担っているのです。

「昔から働くことが大好きで、今でもじっとしてられない性格です。役を受けたら、責任をもって行動することを自分に言い聞かせています。加えて、これまでの経験から、努力の上には花が咲くことは間違いないと思っています。」と明るい笑顔でインタビューに答えてくださいました。

やまぐち広域スポーツセンター企画運営委員会 委員 福田一儀^{かずのり} 氏

今回は、やまぐち広域スポーツセンター企画運営委員会の委員である至誠館大学教授の福田一儀氏にお話を伺いました。7年前に山口県萩市に来られ、総合型クラブをはじめ山口県のスポーツ振興に大変ご尽力いただいています。

総合型クラブの可能性について

総合型クラブの創設が始まった当初は、理論的には素晴らしいものではあるが、日本には根付かないのでは？と思いながら進めました。現在、クラブ数は横ばいですが、行政や企業、学校等との連携や、指定管理や委託業務、部活動支援等活動においても拡がりを見せており、全国的には確実に進んでいるものだと感じています。地縁的なつながりや共通の価値観が希薄になってきたり、人口減少や高齢化等によりコミュニティ形成の維持が困難になってきたりしている中で、総合型クラブは、血縁や地縁に代わる第3のコミュニティ形成の場ではないかと思っています。

研究者としての思い

総合型クラブ等において、ボランティア組織のジレンマが存在していると感じています。ボランティアと言え、潜在的に“儲けてはいけない、報酬をもらってはいけない”という考え方があります。しかし、規模が大きくなったり、専門性を求めたりすると、ボランティアのみでは運営は困難になります。組織や活動において一歩発展した時のことを考えておく必要があると考えており、ボランティア・非営利という言葉の正しい理解と望ましい組織の在り方を広めていきたいと思っています。また、山口県のクラブの実態調査や先進事例の報告等を行うなどの貢献もしていきたいと考えています。

関西弁交じりにいろいろなお話をしていただき、楽しいインタビューの時間でした。福田先生はNAUI コースディレクターというダイビングライセンスやノルディックウォーク連盟公認指導員の資格もお持ちだそうです。

最後に、「どの大学も地域貢献には力を入れているので、施設的にも人的にもそろっている大学という場をぜひ上手くご活用ください！」とお話してくださいました。



【生涯スポーツ推進センター問い合わせ先】

中央生涯スポーツ推進センター（山口県体育協会）
TEL 083-933-4697 FAX 083-933-4699